

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	荒廃竹林整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市は、昭和48年度から「高松市分収造林条例」に基づき、山林所有者と分収造林契約を締結し、約221haの分収造林地を管理しているが、長期にわたる管理期間の中で当該造林地に竹が侵入し、管理に支障を来している現状である。造林地の管理に係る施策については、事前に施業するエリア（施業地）を調査し、侵入竹の整備を行っている。		
29年度概要	荒廃竹林整備事業	8ha	
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	荒廃竹林（分収造林地）
意図（どのような状態にしたいか）	分収造林地内の侵入竹林を整備し、貴重な森林資源を守る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
荒廃竹林整備面積	ha			0	8	8.16

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
		荒廃竹林において荒廃竹林整備事業を実施した面積の比率	%	目標値			50	50
	実績値					0		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>（目標達成度）</p> <p>（達成度）</p> <p>0.0%</p> <p>0点</p>						
	平成28年度は、分収造林事業においては間伐事業に重点を置いたことから、荒廃竹林整備は一時休止した。平成29年度以降は、計画的整備を予定している。							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			目標値					
			実績値					

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	6,017	6,226	3,140	4,966
（事業費）	[円]	1,588	1,620	0	1,826
（職員人件費）	[円]	4,429	4,606	3,140	3,140

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
平成28年度においては、荒廃竹林整備事業を実施できなかった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
事業の方策、施業手法等を検討し、成果の向上、コストの縮減を図る必要がある。			